

# 青少年のための科学の祭典 2026・名古屋大会

## 出展内容の紹介

ブース番号 1～10

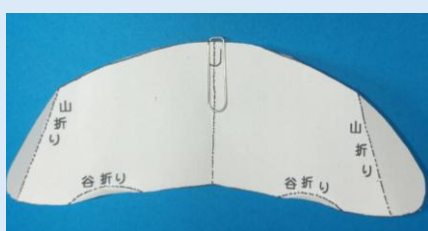
※ ブース番号に○がついているブースは、ウェブでの事前申込が必要です。

### 1 回転する実やたねのふしぎ

風を利用して、回転したり、滑空したりしながら、遠くまで飛ぶ実や種。自分で動くことができない植物には、生きるための仕組みがあります。植物の種子が風を利用して遠くへ広がる仕組みを、紙の模型を作って体験します。



アオギリ



アルソミトラ



マツ・カエデ

### 2 傘袋ロケットをつくろう

スーパーやデパートなどで使われる傘袋を使って、ロケットを作ります。傘袋に空気を入れて口を結び、指で押し込むことで飛ばします。傘袋ロケットをつかって、空気圧の原理や運動のしくみを楽しく学びましょう。

おもり（厚紙）

羽（厚紙）

おもり・羽・本体に色を塗ったりイラストを描いたりしても OK！



本体（傘袋）

空気を入れた後、  
輪ゴムでとめる

### 3 「誕生星座」を探してみよう：黄道12星座と誕生星座

空にはたくさんの星が輝いています。その星をつないで星座が出来ています。地球から見て太陽の通り道に12の星座があります。昔、その12の星座を使って誕生星座ができました。

「私の・僕の誕生星座は何かな？」「自分の誕生星座はどのように決まったの？」

「誕生星座はどこにあるの？」「誕生星座はいつ見えるのかな？」太陽・地球・星座の模型を使って、黄道12星座・誕生星座について学ぼう。自分の誕生星座を見つけたら、プチ・プラネタリウムで誕生星座を見てみよう。綺麗な星座が見えると良いな。



### 4 分子模型をつくろう！

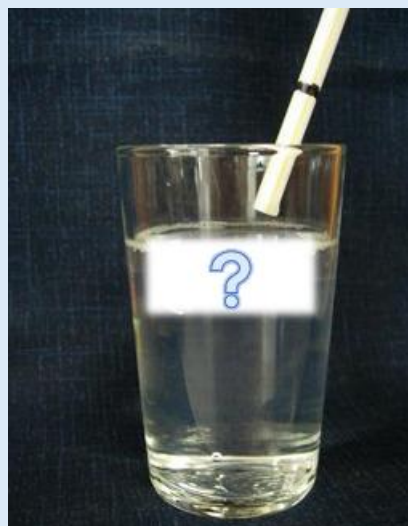
すべての物質は、原子からできています。紙も水も空気もそしてあなたの体も、原子がいくつか集まって分子をつくり、その分子が驚くほどたくさん集まって物質をつくっているのです。原子の大きさはとても小さくて1cmの1億分の1くらいしかありません。発泡スチロールの球をつかって、そんな不思議な分子たちをつくってみませんか？この模型は、ちょうど1億倍の模型です。それぞれの原子の大きさを、なるべく正確に表現するように考えられています。

#### <作る予定の分子>



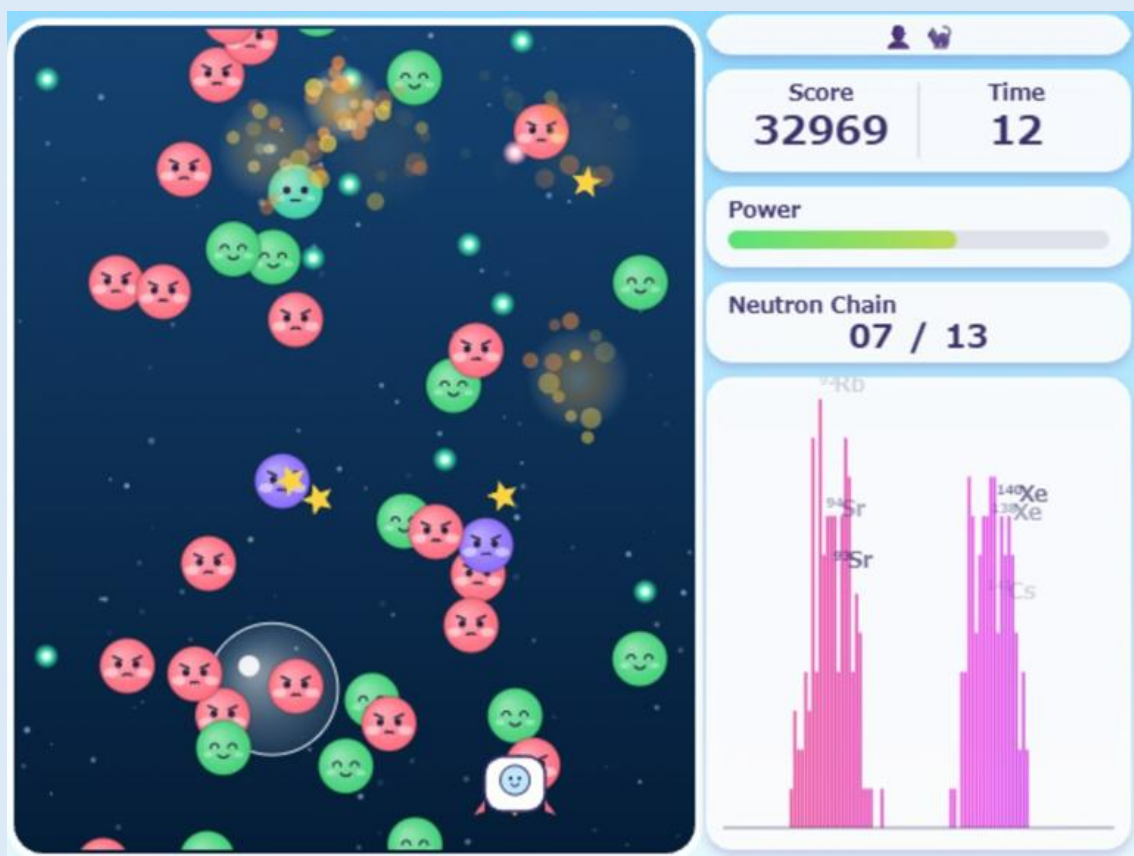
## 5 水中しゃぼん玉を作ろう！！

みなさん、洗剤を水に混ぜてしゃぼん玉をつくって遊んだことはありますよね？しゃぼん玉といえば空中にふわふわと浮かんでいるのを思い出しますが、そんなしゃぼん玉を、今回はなんと水の中につくります。どのように水中にしゃぼん玉ができるのか、そのしくみも学んでみましょう。さらに、そのしゃぼん玉には色をつけることもできます。自分の好きな色のカラフルなしゃぼん玉を作ってみましょう！



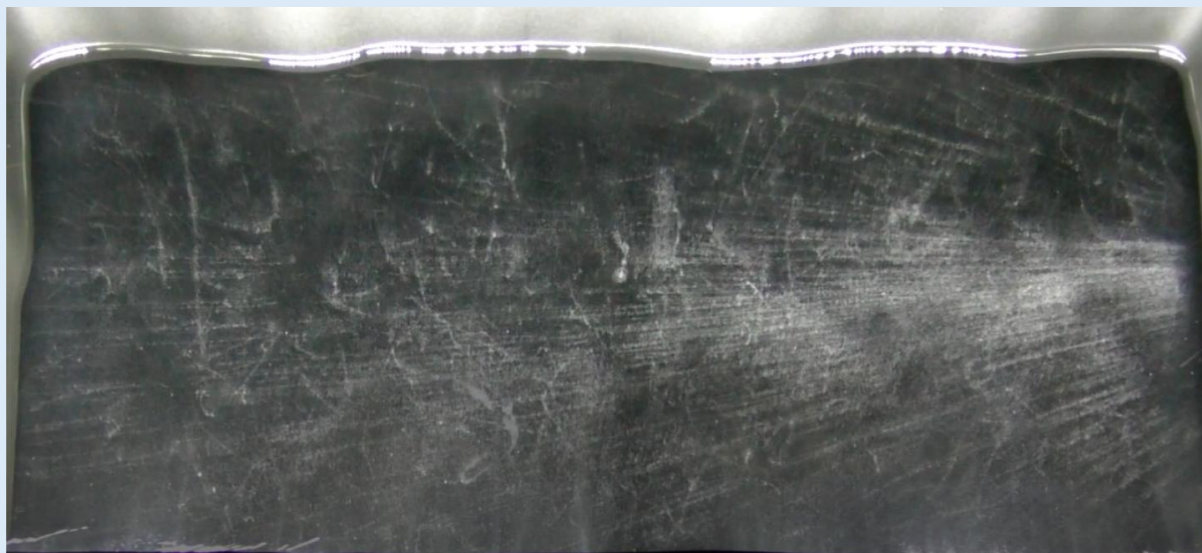
## 6 核分裂連鎖反応を体験しよう

ウラン235の核分裂で発生した中性子がどのように核分裂反応を連鎖的に起こすのか、核分裂連鎖反応を模擬したシューティングゲームにより直感的に体験できます。



## 7 ピラミッドも貫く宇宙線を見つけよう

霧箱の改良を続けて25年！簡単な構造でしかも非常に安くて、性能は素粒子の飛跡がくっきりと見える高感度のものになりました。みなさんで組み立てて、宇宙からやって来る宇宙線のミュオンという素粒子を見つけましょう。ミュオンは物質を貫通する能力が高く、ピラミッドのような巨大な構造物でも突き抜けます。それを利用して、名古屋大学の研究室では4000年間知られていなかった未知の空間をピラミッドの中で発見しました。宇宙線ミュオンは科学館の地下へもやって来ています。組み立てた霧箱で宇宙線を見つけましょう。



## ⑧ 地球からのプレゼント

※ 事前申込

地球には、ダイヤモンドやオパールなどたくさんの鉱物があります。「地球からのプレゼント～鉱物のキーホルダー作り～」では、奥三河で採れる鉱物を使ってキーホルダーを作ります。用意してある鉱物は、黄鉄鉱、蛇紋岩、松脂岩、バラ輝石、鉄メノウです。これらの鉱物をきれいにして、水と一緒にビンの中に入れると、きれいなキーホルダーが完成します。ぜひ、作りに来てください。



## ⑨ 見つけよう！香り成分のヒミツ

※ 事前申込

ミカンの葉は、ミカンのにおいがするのでしょうか？ その葉を水に浮かべると動き出す？ 果実の香りで遊んだり、クイズを解いたりしながら、香りの成分の「ヒミツ」に楽しく迫ります。自然のもつ香りと、暮らしで様々な利用される香料（合成）の世界とをつなぐ気づきが生まれることを目指します。



## ⑩ 金属を溶かして

“いもの”をつくろう！

※ 事前申込

鋳物（いもの）のレリーフ作りが体験できます。砂を型に詰め砂型を作り、その砂型に溶かした金属を流し込みます。冷えて固まったら鋳物（いもの）の完成です。作った作品はお持ち帰りいただけます。

